

## この指と一まれ (第9号)

平成29年(2017年)6月1日

大中里保育園 園長 塩川恵美子

ちょうど1年前にメッセージをお届けしていました。自分の仕事の能力が年々落ちている事をこうしたことから改めて感じる昨今です。

それに比べ子ども達の目覚ましい変化・成長は見るだけで感動ものです。

昨日までできなかったことが今日は出来た。

それがパンツを少しだけ持ち上げて自分でやろうとしたことだったり おしっこは出なかったけどトイレに行こうって誘ったらついてきて座ったよとか

些細なことだけど昨日より今日ちょっとだけ違ってたことを喜べると子育てって楽しくなるものです。

やんちゃで困ることばかりする子。そんな時一呼吸。

少し余裕を持ってしばらく見ていたら何かしら感じるものがあるのではないのでしょうか？

ママ最近忙しくてかまっていなかったね。ごめんね。

そんな思いは言葉にしなくても表情にそして態度に表れて子どもにもちゃんと伝わるものです。

毎月大中里保育園では絵を見ながら子どもの心を思いやってみます。

この色は この形は この筆使いは何を言いたいのかしら？

最近言葉使いが乱暴になっているんです。どうしたのかしら？

それがこの切れ切れした線に表れてる気がするよね。こうして発散しているからいいのかな？

いや待てよ。保育が 遊びが充実している？満足している？少し退屈しているんじゃないの？

今この子が何を望んでいるのか？を

時間をかけてみんなで話し合っただけ結論は出なくても職員全員でその子について話をし 考えると不思議です。翌日には変化がみられるのです。

あれっ??昨日までの困ったさんが今日は目につかなくなっています。

私たちの気持ちの持ちようなのか？私たちの思いが子どもに伝わったのか？

若くても子育てと仕事で忙しいママやパパもきっとへとへとになりながら子育てに頑張っているんだらうなと思うと何かちょっとした応援ができないものかと・・・。

それにはこうしてちょっと気持ちを切り替えてみるのが一番でしょうか？

眠くならないうちに食事を作って お風呂に入れて 寝かせて・・・あー時間が欲しいってあせるより

「お茶碗持って行ってね」「あらお手伝い上手になったね。ありがとう」たったこの一言で子どもも大人も楽しくなりませんか？

「ねえ今日はママの背中ごしごしして！！あーきもちいいな。ありがとう」って。

気持ちを込める 心から楽しむ。こどもの寝顔やちょっとした変化に喜びを感じられたらきっと子どもが数倍もかわいいと思えますよ。

ママやパパが子どもから元気をもらってお仕事をうんと頑張れたら何よりです。

毎日どこかで何かが起こる。めまぐるしく 刺激的に 発見や大騒動で楽しませてくれる子どもたちからエネルギー補給をしてもらってることに私も感謝。

子どもの魅力はあの天真爛漫さ。怒っても 泣いても あっという間に笑顔を取り戻せる不思議な素敵な子どもと毎日過ごせる保育士っていいお仕事です。

これからでも保育士目指しませんか？

そうかあー育児って楽しいものなんだなって思ってもらえたら嬉しいです。

